

第1章 日本の国土

3 日本の気候の様子

答え

- 1 ① A 南東 C 北西
 ② B 太平洋 D 日本海
 ③ 台風 ④ つゆ
 ⑤ (例) 一年を通じて降水量が少ないという特色。
- 2 ① ウ
 ② A ア D イ F ウ
 ③ ①
 ④ (例) 海上からのしめった季節風が日本列島をこえるときに雨雲や雪雲をつくり、雨や雪を降らせる。

丸つけのポイント

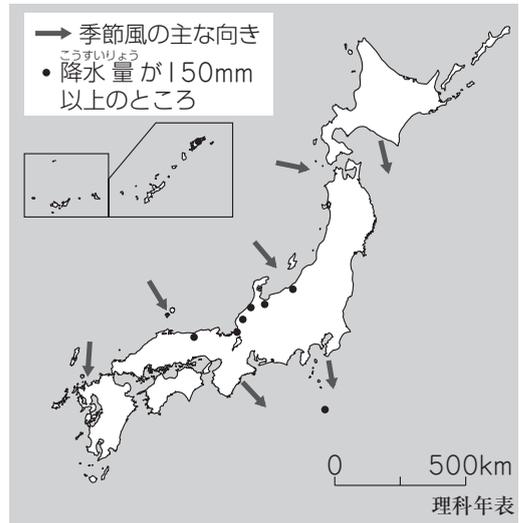
- 1 ⑤ 「降水量が少ない」という内容があれば正解です。
- 2 ④ 「しめった(季節)風が日本列島をこえるときに雲をつくる」という内容があれば正解です。

考え方

- 1 ③ 台風は発達した熱帯低気圧ともいい、強い風と大雨をもたらします。台風が接近すると高潮が発生する場合があります。
- ④ 北海道は本州と比べると、台風やつゆのえいきょうをあまり受けません。
- ⑤ 中央高地の気候と瀬戸内海の気候に区分される地域では、夏の季節風も冬の季節風も山地によってさえぎられるため、一年を通じて降水量が少ないのが共通した特色です。
- 2 ① Dの都市は冬でもあたたかい気候なのでAはまちがいです。Bの都市は夏は高温になるのでイはまちがいです。Aは札幌市、Bは新潟市、Cは松本市、Dは高松市、Eは静岡市、F是那覇市です。
- ② Aは12月と1月、2月の気温が

0度以下であることから北海道の気候、イは冬でもあたたかく年中降水量が少ないことから瀬戸内海の気候、ウは1月でも気温が15度以上あることから南西諸島の気候のグラフであるとわかります。

③ 夏の季節風は太平洋側からふき、太平洋側の地域に雨をもたらします。次の図は、冬(2月)の季節風の主な向きと、降水量が多いところを示しています。季節風のえいきょうで、日本海側に降水量が多くなっていることがわかります。



2月の降水量が150mm以上の地点

第1章 日本の国土

4 寒い地方のくらし

答え

- 1 ① 季節風
 ② (例) 沖を暖流の対馬海流が流れている(ので、空気があたためられるから。)
 ③ (例) 屋根のかたむきを急にしている。
 ④ A イ B ウ C ア
 ⑤ 米
 ⑥ イ

第2章 わたしたちの生活と食料生産

7 米・小麦と主な野菜の産地

答え

- 1 ① 1位 イ 2位 ウ
3位 ア 4位 エ
- ② イ
- 2 ① 1.イ 2.ア 3.ウ
② 1.エ 2.イ 3.ウ 4.ア
③ (例) 広い耕地で、大型機械を使って、大規模に栽培しているから。

丸つけのポイント

- 2 ③ 「広い耕地」「大規模に栽培（大規模経営）」という意味の言葉が両方あれば正解です。

考え方

- 1 ① 稲の栽培には夏の高温と豊かな水が必要です。日本海に面した1位～4位の道県は、夏はフェーン現象で気温が上がり、豊富な雪解け水を農業用水に利用できます。

② 米の産地として、①で述べた条件を満たしているのはアの石狩平野です。小麦の主産地となるイの十勝平野は火山灰土で水田には不向きな土質のうえ、親潮（千島海流）のえいきょうで気温は低く、畑作が中心です。ウの根釧台地は十勝平野よりさらに気温が低く、夏にはきりが発生して日照不足となるので、畑作にも不向きで、第二次世界大戦（1939～1945年）後、酪農を行うために大規模に開拓されました。

- 2 ① 1は北海道の割合がとても高いことから、3つの選択肢の中ではじゃがいもであると判断しましょう。2は長野県と群馬県は高冷地での抑制栽培、茨城県と兵庫県は近郊農業と考えてレタスを選びます。3は茨城県は近郊農業、宮

崎県と高知県はビニールハウスを利用した促成栽培で有名であることから、夏野菜のピーマンを選びます。

② 地図だけでは、全国にしめる割合や順位がわからないのでむずかしい問題ですが、4つの地図中に1度だけ登場する道県に注目すると、答えを導きやすくなります。具体的には、1（きゅうり）では福島県、2（だいこん）では北海道、3（キャベツ）では愛知県、4（なす）では高知県に注目するとよいでしょう。

③ 農家の経営規模が他の都府県に比べてとても大きいことから、北海道では農業の所得が全体の所得の半分以上をしめる農家の割合が高くなっています。なお、北海道では野菜の生産がさかんですが、畜産も同様にさかんなため、農業出荷額にしめる野菜の割合は、さほど大きくありません。

第2章 わたしたちの生活と食料生産

8 主な果物・花の産地

答え

- 1 ① 果物：りんご 県：青森（県）
② 1.みかん 2.日本なし
③ 1.ア 2.ウ
④ (例) 雨が少なく、水はけがよいこと。
- 2 ① (例) 大都市に近いこと。
② コールドチェーン
③ (例) あたたかい気候を利用し、出荷時期をずらすことで、高値で売れるから。

丸つけのポイント

- 1 ② 2は「洋なし」と区別するため、「なし」ではなく「日本なし」と答えましょう。
④ 「雨が少ない」「水はけがよい」という意味の言葉が両方あれば正解です。

答え

- 1 ① 鉄鉱石 ② ウ
- ③ (例) 輸入した原料を陸あげしやすい海沿いの場所。
- ④ (例) 自動車づくりに必要な鉄を、製鉄所から自動車工場へ運ぶのに都合がよい。
- ⑤ ウ
- 2 ① ナフサ
- ② 石油 (化学) コンビナート
- ③ ア ④ イ

丸つけのポイント

- 1 ③ 「原料」「輸入」という言葉を使い、「輸入した原料を陸あげしやすい (原料を輸入しやすい)」「海沿い(海に面した)」という内容が書けていれば、正解です。
- ④ 自動車工場 (組み立て工場) に鉄 (鉄板) を運ぶのに便利であることが書けていれば正解です。「便利」な点を「輸送時間が短くてすむ」「運ぶのにお金が少なくてすむ」などと、具体的に書いてもよいでしょう。

考え方

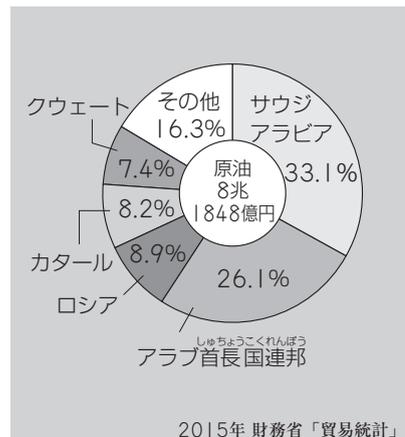
- 1 ② 鉄をつくるのに必要な主な原料は、鉄鉱石・石炭 (コークス)・石灰石です。このうち鉄鉱石と石炭はほとんどを輸入にたよっていて、いずれも 50% 以上をオーストラリアから輸入しています。
- ③ 鉄鉱石や石炭は、主に船で輸入しているため、原料を陸あげする海沿いに工場があるほうが便利です。また、できた製品を輸送するのもにも便利です。
- ④ 愛知県の東海市の近くには豊田市が、神奈川県かながわの川崎市かわさきの近くには横浜市よこはまがあり、いずれも自動車工業がさかんな都市

として知られています。

⑤ 飛行機の機体の材料は軽いほうがよいので、金属では主にアルミニウムが使われています。なお、最新の飛行機では、より軽量の機体になるよう、金属より軽くして丈夫な炭素せんいと樹脂の複合材料が多く用いられるようになってい

- 2 ③ 原油 (石油) を石油タンカーで輸入するため、石油コンビナートが海沿いにある点に着目してアを選びましょう。なお、イは主な自動車工場の場所、ウは主な集積回路 (IC) の工場の場所を表しています。(出典 ア：石油化学工業協会資料、イ：日本自動車工業会資料、ウ：産業タイムズ社資料)

④ 日本では、大部分の石油 (原油) を輸入にたよっており、とくにサウジアラビアやアラブ首長国連邦をはじめとする西アジアの国々から多く輸入しています。



日本の原油 (石油) の輸入先

答え

- 1 1 仕事 取材
 行う人 記者
 2 編集
 3 ウ
 4 テレビのニュース番組 ア・ウ
 新聞 イ・エ
 5 (例) 情報を正しく伝えること。
- 2 1 A エ B イ
 C ウ D ア
 2 A エ B イ
- 3 (例) 日本は他の国に比べて人口1人あたりの新聞発行部数が多い。

丸つけのポイント

- 1 5 「情報」という言葉を使い、「(情報が) 正確である」という内容があれば正解です。
- 3 「人口1人あたり」という言葉を使い、「人口1人あたりの(新聞) 発行部数が多い」という内容があれば正解です。

考え方

- 1 3 テレビ局や新聞社は、関係者で編集会議をおこない、どのような情報をどれくらいの重要度で取り上げるのかなどを決めて、独自に編集をおこないます。ニュース番組のしちよう者や新聞の読者からの要望は大切ですが、要望があった情報だけを取り上げるわけではありませんので、アはまちがいです。また、ニュース番組や新聞によって、取り上げる情報はまちまちですので、イはまちがいです。
- 4 新聞の紙面は主に文字のほか、写真やイラストなどの画像で構成されています。テレビのニュース番組は、映像と音声を中心となって構成されていますが、

文字や写真などで情報をおぎなうこともあります。

メディア	情報の送り手	情報の種類
テレビ	テレビ局	映像、音声など
新聞	新聞社	文字、画像
インターネット	さまざまな人	映像、音声、文字、画像など

さまざまなメディアの特徴

- 5 情報を「早く」「わかりやすく」伝えることも大切ですが、多くの人に向けて一度に情報を送るマスメディアであるテレビ局や新聞社は、まちがった情報を伝えたと世の中に大きなえいきょうをおよぼすため、正確に情報を伝えることが何よりも大切です。
- 2 2 テレビ、インターネット、新聞、ラジオのうち、わかい年代の利用時間が長いのがインターネット、年齢の高い世代の利用時間が長いのがテレビと考えられますので、Aがエ、Bがイとなります。表中のアは新聞、ウはラジオです。
- 3 新聞発行部数は、インドは日本の約5～6倍、中華人民共和国(中国)は約2～2.5倍です。いっぽう、人口は両国とも日本の10倍以上なので、人口1人あたりの新聞発行部数は日本のほうが多くなります。アメリカ合衆国(アメリカ)の新聞発行部数は日本とほぼ同じですが、人口は2倍以上なので、人口1人あたりの新聞発行部数は日本のほうが多くなります。日本の人口はドイツの約1.5倍ですが、新聞発行部数は約3倍なので、人口1人あたりの新聞発行部数は日本のほうが多くなります。